臨床で活躍できる理学療法士

静岡理学療法学科

卒業までに修得すべき要件

斜体： 選択科目

知識・理解
- 理学療法士としての専門的知識、実践力を身に付けている
- 国際化に対応した知識、視点を身に付けている

思考・判断
- 患者に必要な情報収集ができる
- 状況に応じて適切に判断ができる

関心・意欲
- チーム医療において信頼関係を構築できる
- 理学療法士の重要性（役割）を自覚できる
- 臨床の場において疑問や好奇心を持つ

態度
- 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を有する

技能・表現
- 自己の専門性を発揮し、実践できる能力を有する
- 良好な人間関係を築くため患者、医療従事者とコミュニケーションをとることができる
- 臨床の場において疑問点を解決するため、資源（文献検索、研究など）を活用することができる

四年次

マニュアルセラピー
スポーツ障害と理学療法
理学療法技術論Ⅱ
理学療法技術論Ⅰ

理学療法管理学

理学療法研究セミナー
卒業研究
理学療法学特論

三年次

運動器障害理学療法学演習Ⅰ、Ⅱ
中枢神経障害理学療法学演習Ⅰ、Ⅱ
内部障害理学療法学演習Ⅰ、Ⅱ

運動器障害理学療法学
中枢神経障害理学療法学
内部障害理学療法学

チーム連携論

装具と補装具療法

小児発達障害理学療法学

住環境と福祉用具
生活環境論
高齢者の医療福祉と介護予防
地域と理学療法

二年次

人体の構造と機能
病態運動学
機能解剖学
運動生理学
運動学演習
基礎運動学

障害別機能評価演習
理学療法評価学
理学療法評価学演習Ⅱ
理学療法評価学演習Ⅰ
理学療法評価学

義肢学と切断者の理学療法

理学療法研究方法論

基礎理学療法学
基礎理学療法学演習Ⅱ
基礎理学療法学演習Ⅰ
基礎理学療法学
理学療法概論

臨床検査と画像データ解析
精神医学
リハビリテーション障害学Ⅰ
リハビリテーション障害学Ⅱ
リハビリテーション障害学Ⅲ
小児の発達と障害
健康増進論
救急医学と蘇生法
臨床心理学
病態治療学Ⅲ
病態治療学Ⅱ
病態治療学Ⅰ
病態学Ⅱ
病態学Ⅰ

一年次

全学共通科目
教養セミナー
人間力セミナー
キャリア開発論Ⅰ
英語コミュニケーションⅠ
英語コミュニケーションⅡ
情報リテラシーⅠ
情報リテラシーⅡ
キャリア開発論Ⅱ
文学
歴史学
哲学
芸術学
国際文化論
心理学　など

専門基礎科目
解剖学
解剖学実習
生理学
人間発達学
薬理学
栄養生化学
医療概論
リハビリテーション概論
保健医療福祉と地域リハビリテーション論

臨床実習Ⅱ
臨床実習セミナーⅡ
臨床実習Ⅰ
臨床実習セミナーⅠ
臨床体験実習
臨床見学実習